

インターネットにおける  
ルールとマナー検定

2005年「春夏」こどもぼん

実施報告書



2005年1月

財団法人 インターネット協会

## 目次

<b>1</b>	<b>検定概要</b> .....	<b>1</b>
1.1	検定の目的 .....	1
1.2	実施方法 .....	1
1.3	受検時期 .....	1
1.4	検定対象者 .....	2
1.5	合格レベル .....	2
<b>2</b>	<b>検定問題</b> .....	<b>3</b>
2.1	出題範囲 .....	3
2.2	出題部門と設問分野 .....	3
2.2.1	出題部門 .....	3
2.2.2	設問分野 .....	3
<b>3</b>	<b>検定結果</b> .....	<b>5</b>
3.1	概要 .....	5
3.1.1	2005年「春夏」版の検定結果.....	5
3.1.2	2004年「夏」版の検定結果との比較.....	6
3.2	詳細 .....	7
3.2.1	受検プロフィール .....	7
(1)	申込み数の分布 .....	7
(2)	受検の得点状況と得点分布 .....	8
(3)	受検の解答所要時間.....	9
(4)	受検申込みに用いられたメールアドレスのドメイン .....	10
3.2.2	合格プロフィール .....	12
(1)	合格率および合格するまでの受検回数.....	12
(2)	27点以上の合格点数の得点分布 .....	12
3.2.3	合格証カード申込み .....	13
3.2.4	個別の設問への解答状況.....	13
(1)	設問分野別の正答率.....	13
(2)	個別設問の高／低正答率 .....	14
<b>4</b>	<b>受検者アンケート</b> .....	<b>15</b>
4.1	選択式項目への回答結果.....	15
4.2	自由記述欄への回答内容.....	18

# 1 検定概要

## 1.1 検定の目的

今日、大人だけでなく、子どものインターネット利用が盛んになっており、その際のルールやマナーはますます重要になっている。さまざまな人々が安全に、しかも快適にインターネットを利用するためには、一人一人がルールやマナーを理解し、守ってゆくことが大切である。なぜならインターネットの価値は、それを使う人のモラルに委ねられているからである。

そうしたインターネット利用におけるルールとマナーの必要性が社会的に強く認識されるようになったことを受け、インターネット協会では、「インターネットにおけるルールとマナー検定（こどもぼん）」を実施した。この検定は、インターネット利用にまつわるトラブルを回避し、ネットを安全で快適に利用できるようにすることを目的として、ネット上でのルールやマナーなどの知識を客観的に測定するものである。

## 1.2 実施方法

本検定は、メールアドレスによる受検者認証と、ウェブ上での選択肢問題に対する解答による検定から構成されている。したがって、メールアドレスを持ち、ウェブが閲覧できる環境があれば、誰でもどこからでも受検できる。なお、インターネットにおけるルールやマナーの普及啓発の観点から受検は無料とし、何度でも受検可能であり、解答合わせもできるようになっている。ただし、設問はデータベースからランダムに出題されるので、必ずしも同じ設問であるとは限らず、設問の選択肢の並び順もランダムに変更される。

## 1.3 受検時期

2005年「春夏」版は、2005年5月16日から2005年8月5日までの82日間、サーバ保守などシステムの停止時を除いて、毎日24時間、実施した。

## 1.4 検定対象者

小学校高学年から中学生ころまでの年齢の子どもを対象としているが、年齢などの制限は設けられていないので、誰でも受検可能である。

## 1.5 合格レベル

本検定は選抜試験ではなく、より多くの人合格することを目指している。参考資料を見ながら受検してもよく、また再受検も可能であり、解答合わせもできることから、比較的高くハードルを設定し、30問中27問以上の正解を合格とした。なお、合格者のうち希望者には有料（合格証カード発行手数料1,050円、内消費税50円）で、インターネット協会から合格証カードを発行する。

## 2 検定問題

### 2.1 出題範囲

本検定の設問は、インターネット協会発行のテキスト「インターネットにおけるルールとマナー 公式テキスト こどもぼん」および、Web上の「インターネットを利用するためのルールとマナー集（こどもぼん）」に基づいて出題した。

### 2.2 出題部門と設問分野

#### 2.2.1 出題部門

設問は、大きく以下の3つの部門に分かれている。

- ① ルール—インターネットを利用するにあたり、自身を守り、他人に迷惑をかけるためのルールや法律などについて、知っておくべき知識を問う。
- ② マナー—インターネットを利用するにあたり、他人への配慮の観点から知っておくべきマナーに関する知識を問う。
- ③ 基本知識—インターネットを利用するにあたり、知っておくべき基本的な知識を問う。

#### 2.2.2 設問分野

各部門の設問は、以下の6つの分野から、設定された出題比率に従って出題された。

- ① 身につけること、覚えておくこと  
インターネットを楽しく安心して利用するために、身につけること、覚えておくことについて問う。
- ② 法律で決められていること  
インターネットを使うために、知っておくべき法律、守らなければならない法律についての知識を問う。
- ③ 電子メール  
メールをやりとりする際の約束事について問う。

④ コミュニケーション

掲示板やチャット、オンラインゲームなどを利用したコミュニケーションに参加するとき、守らなければいけないルールやマナーについて問う。

⑤ ウェブページによる情報発信

ウェブページで情報を発信するときのマナーや注意について問う。

⑥ ウェブページによるサービスの利用

ウェブページで情報を探したり、オンラインショッピングをしたりするときのマナーや注意について問う。

## 3 検定結果

### 3.1 概要

#### 3.1.1 2005年「春夏」版の検定結果

2005年「春夏」版の主な検定結果を表3-1に示す。

表3-1 2005年「春夏」版の主な検定結果

項目	2005年
	「春夏」版
受検申込総数	3,787件
実受検総数	3,443件
答案提出数	3,202件
答案提出率	93.0%
答案未提出率	7.0%
平均点	27.0点
平均解答所要時間	25分01秒
受検メールアドレス総数	2,945件
合格数	2,360件
合格率	68.5%
合格証申込数	60件
合格証申込率	2.5%
実施日数	82日

### 3.1.2 2004年「夏」版の検定結果との比較

2005年「春夏」版の検定結果と、2004年「夏」版の検定結果を比較した一覧表を表3-2に示す。

表3-2 2004年「夏」版の検定結果との比較

項目	2004年 「夏」版	2005年 「春夏」版
受検申込総数	5,069件	3,787件
実受検総数	4,510件	3,443件
答案提出数	4,194件	3,202件
答案提出率	93.0%	93.0%
答案未提出率	7.0%	7.0%
平均点	27.0点	27.0点
平均解答所要時間	24分21秒	25分01秒
受検メールアドレス総数	3,616件	2,945件
合格数	3,047件	2,360件
合格率	72.7%	68.5%
合格証申込数	162件	60件
合格証申込率	5.3%	2.5%
実施日数	32日	82日



## 3.2 詳細

### 3.2.1 受検プロフィール

#### (1) 申込み数の分布

図 3-1 に、検定開催中の 1 日ごとの受検申込み数分布を示す。(受検申込み総数 3,787 件の分布)

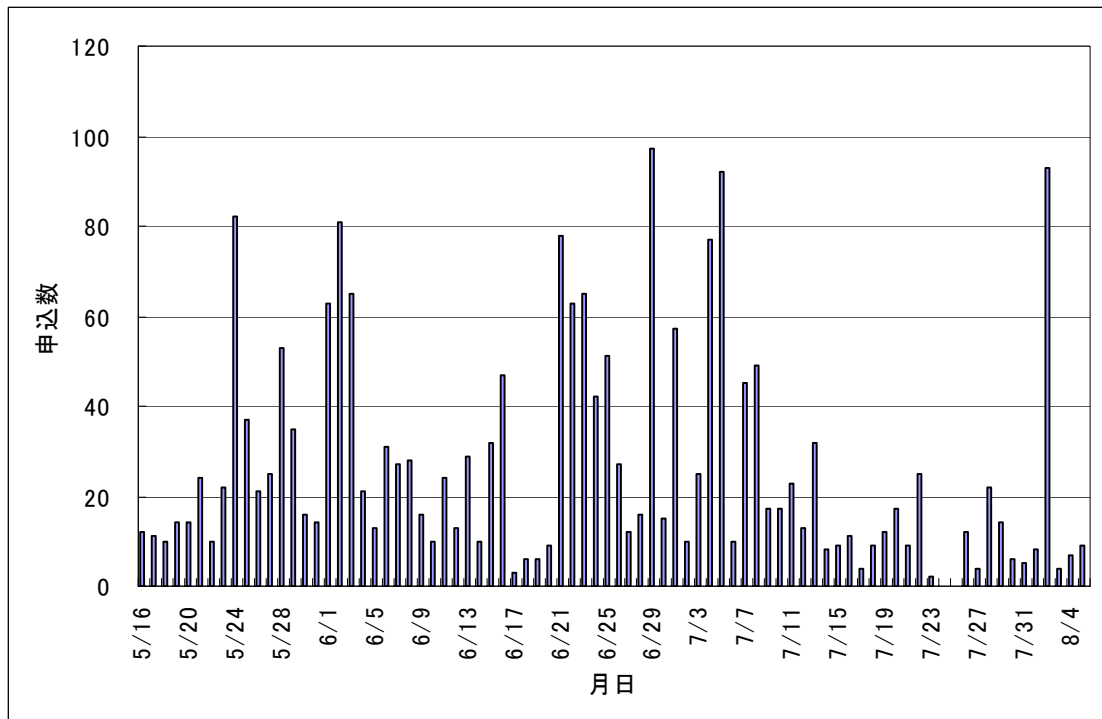


図 3-1 申込み数分布

(2) 受検の得点状況と得点分布

受検の得点状況は以下のとおりである。

最高点	30点(満点)
最低点	0点
平均点	27.0点

答案提出数 3,202 件に対する得点分布を図 3-2 に示す。  
もっとも得点件数の多いのは 25-29 点 (2,258 件・70.5%) であり、次いで 30 点 (563 件・17.6%)、20-24 点 (256 件・8.3%) となっている。

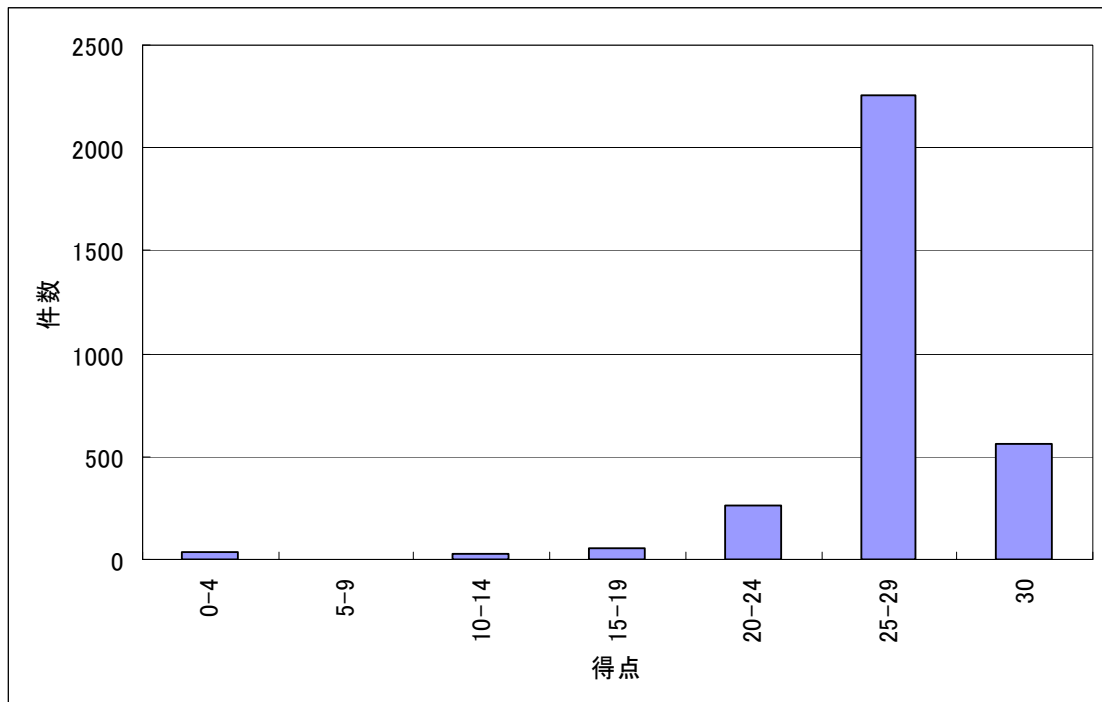


図 3-2 提出された答案の得点分布

### (3) 受検の解答所要時間

受検の解答所要平均時間（ひとつの受検 ID が問題に最初にアクセスしてから答案を提出するまでの、中断時間も含んだ総解答時間）は以下のとおりである。なお、受検 ID の有効時間は 24 時間である。

平均時間                      25 分 01 秒

約 9 割（93.6%）が受検開始から 30 分後までに解答を終えている。1 時間以内の解答終了割合が 96.0%、2 時間以内の解答終了割合が 96.6%であった。

もっとも件数の多い所要時間は 10-20 分（1,697 件・53.0%）であり、次いで 0-10 分（1,106 件・34.5%）となっている。

図 3-3 に、受検開始から 2 時間後までの解答所要時間分布を示す。

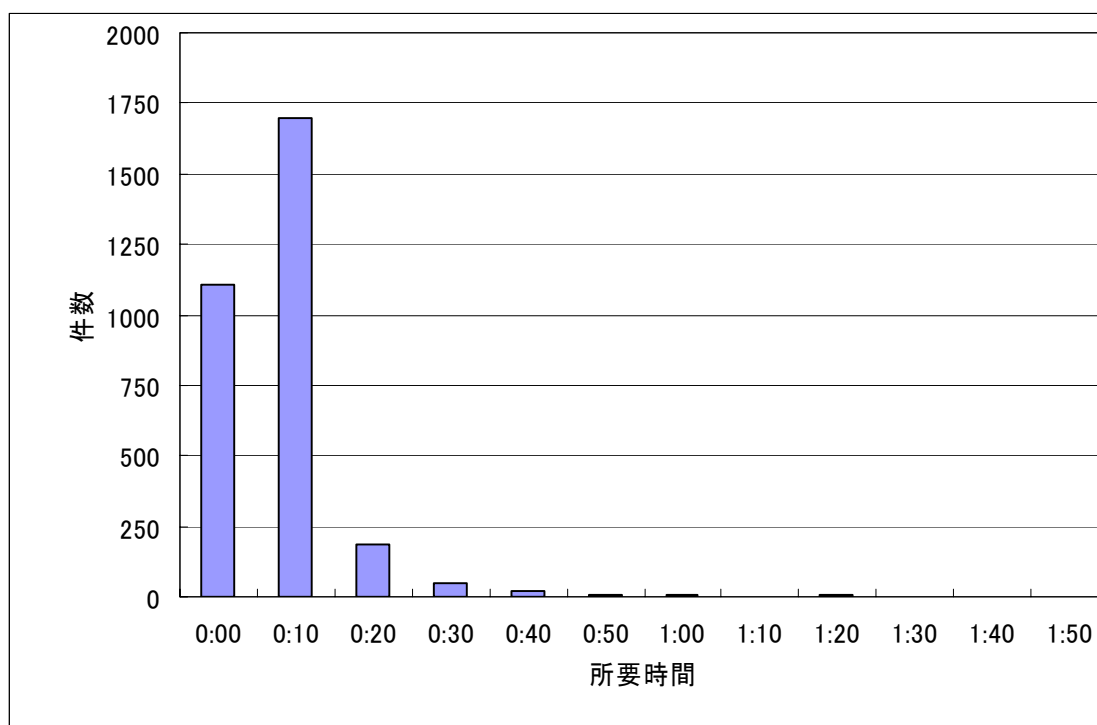


図 3-3 受検の解答所要時間

(4) 受検申込みに用いられたメールアドレスのドメイン

受検申込みに用いられた受検メールアドレスの総数は2,945件であった。これらのアドレスをトップレベルドメイン別に分類した場合の、各ドメインの件数と比率（上位5件）を表3-3に示す。

表 3-3 トップレベルドメインの件数と比率（上位5件）

トップレベルドメイン名	件数	比率
jp	2,459 件	83.5%
com	261 件	8.9%
to	192 件	6.5%
net	22 件	0.7%
cx	4 件	0.1%

jp ドメイン内に限定して、受検メールアドレスをセカンドレベルドメイン別に分類した場合の、各ドメインの件数と比率を表3-4に示す。

表 3-4 jp ドメイン内のセカンドレベルドメインの件数と比率

セカンドレベルドメイン名	件数	比率
co.jp	1,134 件	38.5%
ne.jp	486 件	16.5%
ac.jp	455 件	15.4%
ed.jp	233 件	7.9%
jp *	67 件	2.2%
or.jp	55 件	1.9%
ad.jp	5 件	0.2%
gr.jp	2 件	0.1%

\* kyoro.jp,yokohama.jp を含む地域型ドメイン等

受検メールアドレスの所属ドメイン名のトップ 10 を表 3-5 に示す。Yahoo など無料で利用できるフリーメールからの受検や、sfc-js.keio.ac.jp や dendai.ed.jp など、教育機関のメールアドレスでの受検が多いことがわかる。

表 3-5 受検者メールアドレス所属ドメイン トップ 10

所属ドメイン名	件数	比率
yahoo.co.jp	1,004 件	34.1%
sfc-js.keio.ac.jp	237 件	8.0%
dendai.ed.jp	220 件	7.5%
garnet.teddybear.to	186 件	6.3%
hotmail.com	134 件	4.6%
hotmail.co.jp	80 件	2.7%
keyaki.cc.u-tokai.ac.jp	80 件	2.7%
ybb.ne.jp	57 件	1.9%
kwassui.ac.jp	56 件	1.9%
infoseek.jp	42 件	1.4%

### 3.2.2 合格プロフィール

#### (1) 合格率および合格するまでの受検回数

合格数および合格率は、以下のとおりである（答案提出数 3,202 件に対する合格数、および、合格率）。

合格数	2,360 件
合格率	68.5%

また、合格するまでの受検回数は以下のとおりである。

受検 1 回	2,028 人
受検 2 回	125 人
受検 3 回	27 人
受検 4 回	6 人
受検 5 回	2 人
受検 6 回	1 人
受検 7 回以上	6 人

（合計が合格数より少ないのは、同一受検者の複数合格を 1 人としているため）

#### (2) 27 点以上の合格点数の得点分布

27 点以上の合格点数の得点分布を図 3-4 に示す。30 点が 563 件（23.9%）あり、合格者の約 4 人に 1 人は満点を取っていることになる。

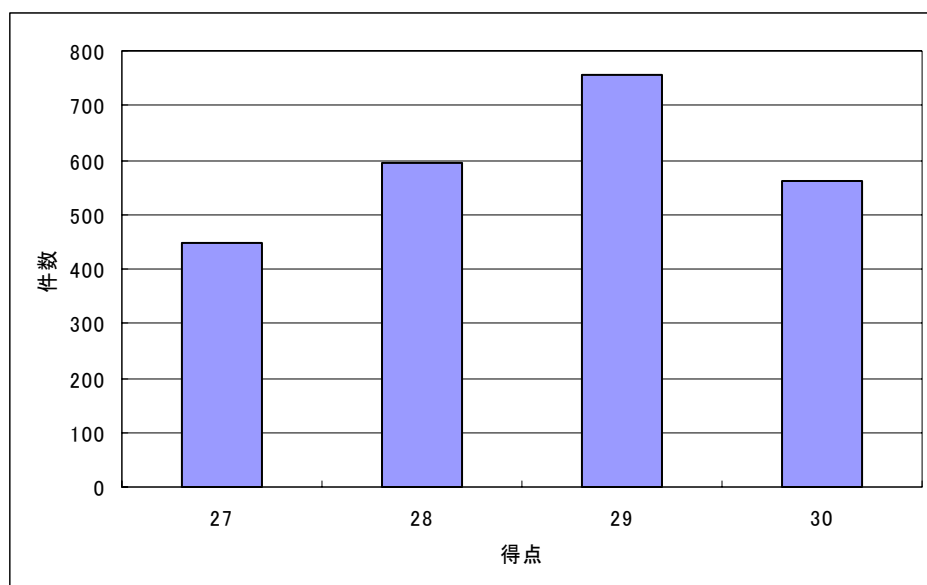


図 3-4 合格得点分布

### 3.2.3 合格証カード申込み

合格数 2,360 件に対する、合格証申込数、および申込率は、以下のとおりである。

合格証申込数	60 件
合格証申込率	2.5%

合格証カードは、合格証カード発行手数料 1,050 円（内消費税 50 円）の払込み確認後、合格者に郵送された。実際に払込みを確認し、合格証カードを送付したのは、37 件であった。

### 3.2.4 個別の設問への解答状況

#### (1) 設問分野別の正答率

各設問分野別の正答率を表 3-6 に示す。

表 3-6 設問分野別の正答率

正答率 (%)	キーワード
93.2%	コミュニケーション
93.1%	関連法規
92.5%	ウェブ(サービス利用)
87.5%	基本事項
87.2%	電子メール
86.5%	ウェブ(情報発信)

(2) 個別設問の高／低正答率

個別の設問への解答において、正答率の高い設問のトップ 10 を表 3-7 に示す。

表 3-7 高正答率の設問トップ 10

正答率 (%)	キーワード
97.8%	情報の検索
97.8%	アンケートページや懸賞ページへの個人情報の入力
97.5%	不正アクセスの禁止(他人のオンラインゲーム用 ID とパスワードの無断利用)
97.4%	チェーンメール
97.3%	クレジットカードの利用
97.3%	個人情報の公開
97.2%	ねずみ講メール
97.2%	掲示板での発言(その場の雰囲気壊さない)
96.9%	インターネットを利用する際の基本的な約束事
96.4%	ユーザ ID・パスワードは他人に教えない

一方、正答率の低い設問のワースト 10 を表 3-8 に示す。

表 3-8 低正答率の設問ワースト 10

正答率 (%)	キーワード
56.2%	添付ファイルのサイズについての注意
60.8%	意味のはっきりしないメールを受け取ったとき
63.7%	他のページへリンクするときの注意
64.3%	あて先まちがいに注意する
68.2%	掲載されている内容は自分の責任で確認する
77.4%	電子メールの受信確認
79.5%	不愉快なメールへの対処
80.5%	ウィルスメールの可能性が高いメール
81.3%	「ご自由にお使いください」と書かれたイラストやソフトウェアの利用条件の確認
83.3%	電子メールの書き方(読みやすいような工夫)



## 4 受検者アンケート

受検者に対して、Web 上で 11 項目（選択式 10 項目と自由記述 1 項目）からなるアンケートを実施した。アンケートの回答結果は、合格者と不合格者を分けて集計した。

### 4.1 選択式項目への回答結果

アンケートの選択式 10 項目への回答結果の一覧表を表 4-1 に示す。学年別の回答数の比率を見ると、高校生が 19.3%（22 人）ともっとも多く、次いで小学 6 年生 16.7%（19 人）となっている。中学生では、中学 3 年生が 13.2%（15 人）ともっとも多かった。小学生全体では 28.9%（33 人）、中学生全体では、29.8%（34 人）となり、小学生中学生が全体の約 6 割という結果となった。

表 4-1 アンケート選択式 10 項目への回答結果

ルール&マナー検定 2005 年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	114	
<b>Q1 この検定を何で知りましたか？（いくつでも）</b>		
インターネット協会のウェブページ	11	9.6%
ニュースサイト(アサヒ・コム、毎日インタラクティブ、YOMIURI ON-LINE、NIKKEI NET など)	7	6.1%
そのほかのウェブサイト	14	12.3%
メールマガジン	1	0.9%
検索エンジン	7	6.1%
新聞・雑誌(ざっし)	22	19.3%
友だちから教えてもらった	5	4.4%
親から教えてもらった	8	7.0%
学校でしようかいされた	14	12.3%
そのほか	39	34.2%
<b>Q2 受検目的は何でしたか？（近いものを1つ）</b>		
ルールとマナーについて勉強するため	47	41.2%
おもしろそうだったから	51	44.7%
合格証カードがほしかったから	4	3.5%
そのほか	12	10.5%
無回答	0	0.0%

ルール＆マナー検定 2005 年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	114	
<b>Q3 受検して勉強になりましたか？</b>		
勉強になった	82	71.9%
わからない	9	7.9%
あまり勉強にならなかった	21	18.4%
無回答	2	1.8%
<b>Q4 問題はむずかしかったですか？</b>		
むずかしかった	11	9.6%
ちょうどよかった	48	42.1%
やさしかった	54	47.4%
無回答	1	0.9%
<b>Q5 受検結果はどうでしたか？</b>		
1回で合格	100	87.7%
2回以上受検して合格	4	3.5%
不合格	9	7.9%
無回答	1	0.9%
<b>Q6 合格証を申し込まれましたか？</b>		
申しこんだ	10	8.8%
申しこんでいない	95	83.3%
不合格だったので、申しこんでいない	7	6.1%
無回答	2	1.8%
<b>Q7 どこで受検しましたか？</b>		
自分の家	95	83.3%
学校	12	10.5%
そのほか	6	5.3%
無回答		

ルール＆マナー検定 2005 年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	114	
<b>Q8 受検場所の都道府県名を教えてください。</b>		
※回答比率が1%未満の都道府県のデータは掲載していません。		
山形県	3	2.6%
茨城県	5	4.4%
群馬県	3	2.6%
埼玉県	11	9.6%
千葉県	7	6.1%
東京都	29	25.4%
神奈川県	13	11.4%
新潟県	2	1.8%
岐阜県	2	1.8%
広島県	3	2.6%
無回答	30	26.3%
<b>Q9 あなたの学年を教えてください。</b>		
小学3年生以下	2	1.8%
小学4年生	4	3.5%
小学5年生	8	7.0%
小学6年生	19	16.7%
中学1年生	8	7.0%
中学2年生	11	9.6%
中学3年生	15	13.2%
高校生	22	19.3%
大学生	7	6.1%
そのほか	18	15.8%
無回答	0	0.0%
<b>Q10 あなたの性別を教えてください。</b>		
男	50	43.9%
女	64	56.1%
無回答	0	0.0%

## 4.2 自由記述欄への回答内容

アンケートの自由記述欄への回答のうち、主なものを以下に挙げる。

### ●検定の感想

- 自分では結構分かっていると思っていましたが改めて考えてみると意外に分かってなかったと思います。三択だし手軽で、しかも学習できてしまうなんてなんだか得した気分です。
- よくインターネットやチャットをしていて当たり前のようにしていたのですが。朝日小学生新聞をみて「ぜひやってみたい」とおもしろいと思って自身満々だったのですが、はじめは30点中/25点 でした。いがいと重要な、と思い。2回目で合格しました。HP を持っているくせに一度で合格しなかったのでちょっと悔しかったです。こういう企画(?) などがあってよかったなあとおもいました。
- ニュースで取り上げられているのを見て妹と挑戦してみました。私は小学校5年生、まだダイアルアップ時代からインターネットをしています。小学校のうちからサイトを持ったりと、かなりインターネット生活をしてきました。そのなかで、こんな検定ができるようになったのも、面白いと思います。次は、大人向けも受けてみたいと思います。
- 確かにネットのルールを守れていない小学生がいると思います。僕も2年前までそんな子供でした。でも、インターネットで知り合った人から沢山の山の人から学び、沢山の交流も出来ました。こんなインターネットにありがたいと思います。
- 先生や親に相談しても、解決すれば良いと思いますが私は無駄に近いと思っています。これは、あくまで私の意見ですが（笑なので私にとっての正解がこの中に無いので困りました 多分、多分ですが 他にもこういう方がいるでしょうだからどうしろというわけではないですが・・・こういう人もいますよ。その理由は子供にしかわかりません それでは、駄文失礼致しました (^\_^)シ
- ネットを初めて結構な年が経ちますが、今回受験して、改めてネットの怖さが学べたような気がします。「こども版」は満点でしたので、次回は100問の方も受けてみたいと思います。

●要望・提案など

- 子供用でも高学年用と低学年用で分けた方がいいとおもう。ぼくは高学年でよかったけど、低学年には難しいと思う。
- 文として読みにくいところがあった。検定は思ったよりも簡単でした。問題に、「チャットでのルール」をいれたらどうでしょうか？
- インターネットを使用する事が、ごく当たり前になってきているでもうすこし難易度を上げてもいいような気がします。
- 意外に簡単だったので楽にできてしまった。もう少し危険に遭遇しないための問題を増やして欲しい。
- 小学校低学年から中学生までを主な対象にした問題にしては簡単すぎるというか、幼稚すぎる気がしました。確かに子供が見て分かりやすいようにしてあるようですが、中学生まで対象にすると、「どうせこれが正解でしょ」的な考えで当たってしまう問題ばかりだとよく理解していなくても分かった気になってしまったりと、あまり意味がない気がしました。それから、できればもう少し対象者を細かく分けた方がいいのではないかと思います。  
（中途半端な年齢なのでどちらも受けさせていただきましたが、大人用の方は分からない用語ばかりでした…）個人的な意見に過ぎませんがお役に立てれば幸いです。